

TK - 9610 使用説明書

(8回路リレーボード)

特長

- ・8A(定格)の動作確認用LED付きリレーを8回路搭載しています。
- ・ガラスエポキシ基板を使用しておりますので、高信頼性です。
- ・小型設計(90mm×60mm)です。
- ・当社DTFM製品(TK-70S etc.)に直接接続できます。

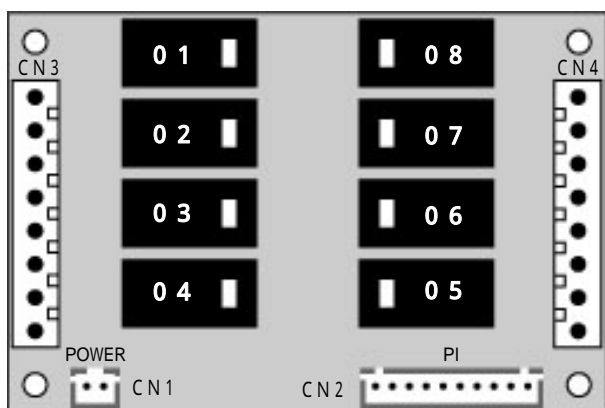
仕様

- ・電源電圧……………DC9～DC15V
- ・消費電流……………240mA(最大)
- ・出力容量……………AC250V、DC30V以下 5A(抵抗負荷)、2A(誘導負荷)
- ・寸法……………90×60(mm)

付属品

- ・基板用スペーサ…4
- ・2Pコネクタ付き電源コード…1
- ・当社製品(TK70S)接続ケーブルセット…1
- ・リレー接点出力コネクタハウジング…2
- ・コネクタコンタクト…20(予備4個含む)

基板概観図



【図1】

コネクタについて


【表1】 CN1 電源入力


POWER	ピン番号	信号名
	1	電源入力 D9V ~ DC15V
	2	GND

【表2】 CN2 リレードライブ入力

PI	用途
	DTFMデコーダ(TK-70S)の10Pコネクタと接続

【表3】 CN3、4 リレー接点出力

CN3	ピン番号	用途
	9	リレー01の接点出力
	10	
	11	リレー02の接点出力
	12	
	13	リレー03の接点出力
	14	リレー03の接点出力
	15	リレー04の接点出力
	16	

CN4	ピン番号	用途
	16	リレー08の接点出力
	15	
	14	リレー07の接点出力
	13	
	12	リレー06の接点出力
	11	
	10	リレー05の接点出力
	9	

配線について

本ユニットでは、【図1】のように電源入力(CN1)、リレードライブ入力(CN2)、リレー接点出力(CN3、4)を別々のコネクタに分けています。以下に、コネクタごとの配線方法について説明します。

電源入力の配線

付属のコネクタ付き電源コードを、本ユニットの電源入力コネクタCN1に差し込み、赤色のリード線を電源のプラス側に、黒色のリード線を電源のマイナス側に接続します。

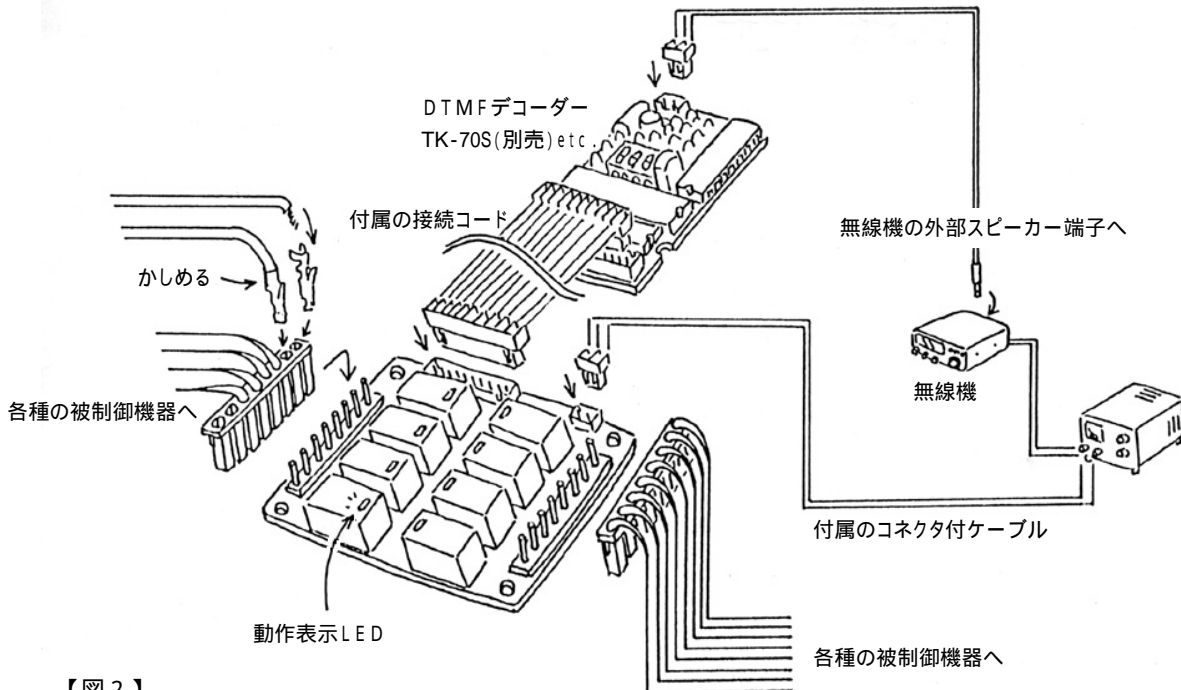
リレードライブ入力の配線

付属の10Pコネクタ付きケーブルセットをDTMFデコーダー(TK-70S)の出力コネクタと接続します。

リレー接点出力の配線

制御する機器の配線に、付属のコネクタコンタクトを接続しコネクタハウジングに挿入後CN3、およびCN4に差し込みます。最大8回路までの機器のON/OFF制御が可能です。

結線実例



【図2】

PATOK

松本無線パーツ株式会社岩国

740-0018 山口県岩国市麻里布町4-14-24
TEL 0827-24-0081 (代) FAX 0827-24-1444